

<推奨コース>

Aコース 崖観音から健人館へ [距離] 約3.1km [所要時間] 徒歩約50分



Bコース 那古寺から鶴谷八幡宮へ [距離] 約3km [所要時間] 徒歩約45分



<おすすめスポット>



**2** 崖観音(がけかんのん)

「崖の観音」で有名な大福寺は船形山の中腹にある。断崖の途中に張りついて見える赤い舞台造りの観音堂の中に「崖の観音様」が刻まれている。寺の由緒では崖観音は養老元(717)年に行基(ぎょうき)がこの地へ来て崖に刻んだと伝えている。その後慈覚(じかく)大師により堂宇が建立されたが、承応(じょうおう)2(1653)年の火災により朱印状・寺宝等すべて焼失、正徳(しょうとく)5(1715)年に諸堂を再建したが大正12(1923)年の関東大震災によってまたも倒壊、同14(1925)年現在の堂宇を建立した。



**4** 西行寺(さいぎょうじ)

浄土宗のお寺。その昔西行法師の妻「呉葉の前」が夫を探して船形へ来て亡くなりました。里人が葬ってその塚に柳を植えたのでこの地を柳塚といいます。後日訪れた西行がこれを知りて西行寺を建てたと言う伝説があります。墓地に永禄七年(1564)年正月八日に亡くなった人の宝篋印塔があります。この日は市川市で国府台合戦があった日です。寺の裏山は戦国時代の船形城跡。安西氏がいたと言われていいます。



**11** 長勝寺(ちょうしょうじ)

釜沼山普門院長勝寺といい、真言宗の寺。釜沼山は寺の裏山で野高と呼ばれ、かつて寺領の水田があり、水田の中央には弁天様が祀られていたといわれています。現在は本堂左手の池に移されています。本尊は地藏菩薩で、南北朝期の木造坐像。明治5(1872)年に金剛宥性(ゆうしょう)が選定した安房百八地藏尊の第10番札所で、ご詠歌の額が掲げられています。



**18** 那古寺(なごじ)

那古寺は、板東三十三番納札所、それに安房国札所第一番として、昔からの廻国巡礼の霊場です。寺伝には、行基開基、慈覚中興となっている真言宗の寺院で、本尊は木造千手観音像。室町期には、里見氏の帰依を受けて、寺運は隆盛しました。明治維新まで鶴谷八幡神社(市内八幡)の別当寺で、寺に伝わる「僧形八幡神画像」が神社に移されて祭礼が行なわれます。



**24** 八雲神社(やぐもじんじや)

正木の浜集落である川崎の鎮守です。拝殿の正面には明治19年(1886)の鳥居形銭額が奉納されています。境内の狛犬は江戸京橋の石工・藤兵衛の弟子・包吉による弘化4年(1847)の作。石灯籠は文政8年(1825)。社殿の中には、日清・日露戦争への従軍者が八雲神社へ参拝する姿を描いた絵馬などがあります。



**28** 鶴谷八幡宮(つるがやはちまんぐう)

養老元年(717年)に今の三芳村府中に創建と伝えられ、品陀和氣命(ほんだわけのみこと)ほか三柱が祀られています。鎌倉時代に現在地に移され、安房国の総社となりました。毎年9月の例祭には安房神社をはじめ、近郷10社の神輿の出祭があり、六所祭(国司祭)が行われます。拝殿正面の格天井に埋め込みの「百態龍」は宮彫師、後藤利兵衛義光の作です。